

令和8年度竹富島デジタルガイドアプリによる入域料収受率改善可能性調査検討業務 仕様書

1 業務名

令和8年度竹富島デジタルガイドアプリによる入域料収受率改善可能性調査検討業務

2 業務目的

竹富町では、竹富島において、貴重な生態系と農村集落景観の保全・再生及び保全・再生のための人材育成・財源確保を目的として、地域自然資産法に基づき竹富島地域自然資産地域計画を策定し、竹富島入域料（任意の協力金。以下「入域料」という。）の収受及び当該財源を活用した各種事業に取り組んでいる。しかしながら、入域料の収受率及び収受額は年々低下傾向にあることに加え、来訪者アンケートの結果等では従来から実施している来訪者の支払意思の喚起に重点を置いた施策のみで目標収受率を達成することは困難であることが示唆されて、今後の活動に必要な財源の安定的な確保が課題となっているところである。

そこで本事業では、来訪者に対し一定の支払インセンティブ、具体的にはナビゲーション、リアルタイムでの営業・混雑情報提供、スポット解説、AI チャットによる問い合わせ即時対応等の機能を有したデジタルアプリの利用権を付与することにより、これまでにない新たな支払い層を掘り起こし、低迷する収受率及び収受額を改善することについて、実現可能性を検討するための調査等を行うものである。

3 業務期間

契約締結の日から令和9年2月15日（月）まで

4 提案総額の上限

委託予算の上限は 7,051,000 円（消費税込）の範囲内とする。但し、この金額は企画提案のため提示した金額であり、実際の契約金額とは異なる。

5 業務内容

本仕様書が規定する事業委託の範囲は次のとおりとする。なお、発注者側による想定人工数を参考記載するが、企画提案はこれに縛られるものではない。

(1) 募集する企画は、下記の全てに合致する。

- ① 来訪者、島民の双方に導入インセンティブが働きうるデジタルガイドアプリケーション（以下「アプリ」という。）の仕様及び機能に関する提案（17 人日程度を想定）
- ② アプリの実装可能性を検討するにあたって必要となる与条件調査（12 人日程度を想定）
- ③ アプリの実装にあたって必要となる素材情報等の収集・整理（16 人日程度を想定）
- ④ アプリの運営持続性検討にあたって必要となる情報の収集・整理及びシミュレーション（29 人日程度を想定）

- ⑤ 実現可能性調査としての結果とりまとめ（４人日程度を想定）
- ⑥ 実施内容を加味した実施体制の提案
- ⑦ 事業実施スケジュールの提案
- (2) 事業全体を総括する担当者１名の配置
- (3) 本件に関わる各関係者との連携とその取りまとめ
- (4) 業務完了報告書の作成（７人日程度を想定）
 - ① 実施内容、整備内容、事業効果とともに、事業全体の報告を取りまとめること。
 - ② 事業に掛かった費用内訳及び支払いやその適正を証明する証憑書類（見積書、納品書、請求書、領収書、根拠資料等）を提出すること。
＜例＞外注先企業等からの請求書、外注先企業等への支払証明書、自社人件費の稼働一覧・勤務表など
- (5) その他、事業実施にあたり竹富町と協議の上、事業遂行に必要とされる事業（６人日程度を想定）

6 企画提案を求める具体的内容

本仕様書で企画提案を求める具体的な内容は次の通りである。

(1) 来訪者、島民の双方に導入インセンティブが働きうるアプリの仕様及び機能に関する提案

アプリを利用した収受率・収受額の改善にあっては、アプリを利用することが来訪者に対し適切なインセンティブとして働く必要がある。また、本事業は、竹富島地域自然資産地域計画に基づく入域料の収受率・収受額改善を目的としたものであることから、当該計画の趣旨に沿ったものであることも必要である。

以上の前提及び業務目的に記載の発注者想定も踏まえつつ、入域料の収受率・収受額改善に寄与するアプリの仕様及び機能について、具体的に提案すること。

(2) アプリの実装可能性を検討するにあたって必要となる与条件調査に関する提案

(1)において提案したアプリの実装可能性を検討するために必要となる与条件について、調査すべき観点、調査対象、調査手法等を具体的に提案すること。

(3) アプリの実装にあたって必要となる素材情報等の収集・整理に関する提案

(1)において提案したアプリを実装するにあたって、コンテンツの実現のために必要となる写真、イラスト、掲載すべき文字情報（ただし、原稿として確定させることまでは求めない）等の素材について、収集すべき対象、収集手法等を具体的に提案すること。

(4) アプリの運営持続性検討にあたって必要となる情報の収集・整理及びシミュレーション

アプリは、収受率・収受額の改善を目的として導入を検討するものであることから、魅力的なものでありかつ持続的なものであることが求められる。このため、アプリの運営持続性の検討にあたって必要となる情報の収集・整理及び解析を行うことを想定している。竹富島地域自然資産地域計画の内容及び(1)～(3)の提案も踏まえながら、収集・整理の対象とすべき情報、収集及び整理手法、整理した情報に基づく解析手法等について、具体的に提案すること。

(5) 実施内容を加味した事業実施体制の提案

本事業の円滑な実施にあたって必要と想定される、竹富島の文化や自然環境保全の観点から

の観光管理の取組み等に係る知識、経験、技術等を備えた実施体制を具体的に提案すること。

(6) 事業実施スケジュールの提案

本事業の実施に必要となるスケジュールについて、効果的かつ効率的な内容を提案すること。

7 事業費の算出

上記、企画提案を求める具体的内容を踏まえ、「委託事業事務処理マニュアル（経済産業省）」に基づき、事業費の算出を行うことを原則とする。

https://www.meti.go.jp/information_2/downloadfiles/2021_itaku_manual.pdf

ただし、本事業は観光庁によるオーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業の交付を受けて行うことを想定していることから、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和 30 年法律第 179 号）、同法施行令（昭和 30 年政令第 255 号）及び地域における受入環境整備促進事業補助金 ＜オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業＞交付規程等の関連規定に定めるところに従って、事業を実施すること。

契約時に積算根拠資料の提出を求める場合があるため、これらの規定を熟読のうえ、関係資料の整理を行うこと。

8 委託料の支払

業務完了時の実績報告の提出および検査合格ののち、支払うこととする。

9 注意事項

提案内容については以下の点に留意すること。

- (1) 契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画の内容をすべて実施するものではない。
- (2) 本仕様書に記載のある事業内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の仕様書とは異なる場合がある。
- (3) 本仕様書記載の事業内容については、実施段階において予算や諸事情によって変更することがある。

10 その他

業務の実施にあたっては竹富町と密接な協議の下で取り組むものとする。提出した実施計画書に変更が生じる場合は、その都度、竹富町の承認を得るものとする。他の業務との経理を明確に区分した上で、専用の会計関係帳簿類を整備し、適正に会計処理を行うこと。業務に係る関係書類は、業務の支払いが完了した日が属する会計年度から 5 年間保存すること。

11 委託契約までの日程

委託事業者の選定及び委託締結については、仮に下記の日程にて実施するものとする。

応 募 締 切 令和 8 年 10 月 1 日（木）12 時

企画提案審査 令和 8 年 10 月 8 日（木）

審査結果通知 令和8年10月中旬（予定）

委託契約締結 令和8年10月下旬（予定）

12 問い合わせ先

竹富町役場自然環境課

担当：金城 有作

〒907-8503 石垣市美崎町11番地1

Tel：0980-83-1306 Fax：0980-82-6199

Mail：shizenkankyoka@town.taketomi.okinawa.jp